

令和5年度日本農林漁業振興会会長賞受賞者受賞理由概要
林産部門

合理的な事業拡大と安定的な経営で地域の林業を牽引

○氏名又は名称 有限会社 下久保林業（代表 下久保 眞信）

○所在地 青森県十和田市

○出品財 経営（林業経営）

○受賞理由

・地域の概要

十和田市は、民有林における人工林の75%以上が9歳級以上の利用時期を迎えており、豊富な森林資源を有し、素材生産業や木材加工業が盛んで、森林資源の循環利用や再造林の推進が課題となっている。

・受賞者の取組の経過と経営の現況

昭和36年頃は農業及び1頭の農耕馬による薪炭及び木材の運搬を生業にしていた。その後、法人化し、素材生産業や運送業、造林事業を本格的に開始。積極的に事業拡大し、生産・輸送コストの低減などを通じて安定した経営基盤を築き、現在では自己所有林121ha、経営受託林175haにおいて森林経営計画に基づく経営を行い、受注を含めて年間33,000 m³の素材生産を行うまでに発展し、地域の林業を牽引している。

・受賞者の特色

（1）積極的な事業拡大と安定した林業経営

「国有林間伐推進コンクール間伐事業部門」優秀賞や、青森県産優良材展示即売会青森県知事賞（2回）、青森県労働局長奨励賞等の受賞歴を持つ。

計画的な路網の整備や高性能林業機械の導入のほか、輸送コストの削減を目的としたフルトレーラーの導入等、合理的な視点に立った投資や積極的な事業拡大により、安定した林業経営基盤を築いている。主伐を依頼された森林所有者に対して再造林を働きかけることで長期の施業委託契約を締結し、契約した全ての森林において再造林に取り組むほか、下刈や除間伐等の施業を適期に企画・提案することにより、森林資源の循環利用と健全な森林整備を目指している。

（2）人材育成への注力による作業の効率化と生産性の向上

女性や若い人材の雇用を推進するとともに、20代から60代までバランスの良い年齢構成の中、経験年数に応じた人材育成に注力している。植栽からオペレーターまで多様な技術者を丁寧に育成することで、現場に必要な人員・重機等の柔軟な配置が可能となり、生産性を向上させるとともに、雇用の安定化を実現している。

・普及性と今後の発展方向

青森県グリーンマイスター協議会の活動として県内高校の森林科学科への伐木教育の協力支援を通じた林業就業への普及活動や、日本伐木チャンピオンシップにおける審判としての活動を通じてチェーンソー使用時における労働災害の低減に尽力している。今後は、林地残材等のこれまで活用されなかった資源にも着目し、有効活用できるような事業を開拓していく考えである。